



# 第8回市場公募地方債発行団体合同IR説明会 ～北九州市の経済と市の財政状況について～

平成21年10月29日(木)

北九州市財政局財務部財政課

〒803-8501 北九州市小倉北区内1番1号

TEL:093-582-2003 FAX:093-582-2070



## 目次

北九州市のプロフィール	1
市政の経営理念と「元気発進！北九州」プラン	3
世界の環境首都への取組	5

### 1 北九州市経済の現状

ロケーションと産業特性	9
ものづくり産業の蓄積	10
地震・渇水に強い都市構造	11
優れた投資環境が充実した産業用地	12
即戦力人材の安定的確保	13
企業の誘致実績	14
北部九州の自動車関連産業の集積	15
北九州学術研究都市一知の基盤・産学連携拠点	16
戦略的な企業誘致による新たな成長産業の集積	17

### 2 市の財政状況

健全化判断比率等について①	18
健全化判断比率等について②	19
市税収入の推移	20
確実な歳入の確保	21

### 2 市の財政状況（つづき）

市債発行額と市債依存度の推移	22
市債残高の推移	23
義務的経費・投資的経費の推移	24
人件費・投資的経費	25
十分な償還財源	26
これまでの行財政改革の取り組み	27
北九州市経営プランの策定	28
財政悪化の要因	29
中期財政見通し	30
具体的な取組内容	31

### 3 起債運営について

投資家のみなさまへ	32
資金調達が多様化へ向けた取り組み	33
平成21年度市場公募債発行計画	34
北九州市債引受シンジケート団	35

# 北九州市のプロフィール



- 発足：昭和38年（1963年）2月10日 5市合併により誕生  
五大市に次ぐ全国6番目の政令市
- 人口：981,016人（平成21年3月31日現在）
- 面積：487.88 km<sup>2</sup>



九州地方の福岡県北部に位置する

平尾台



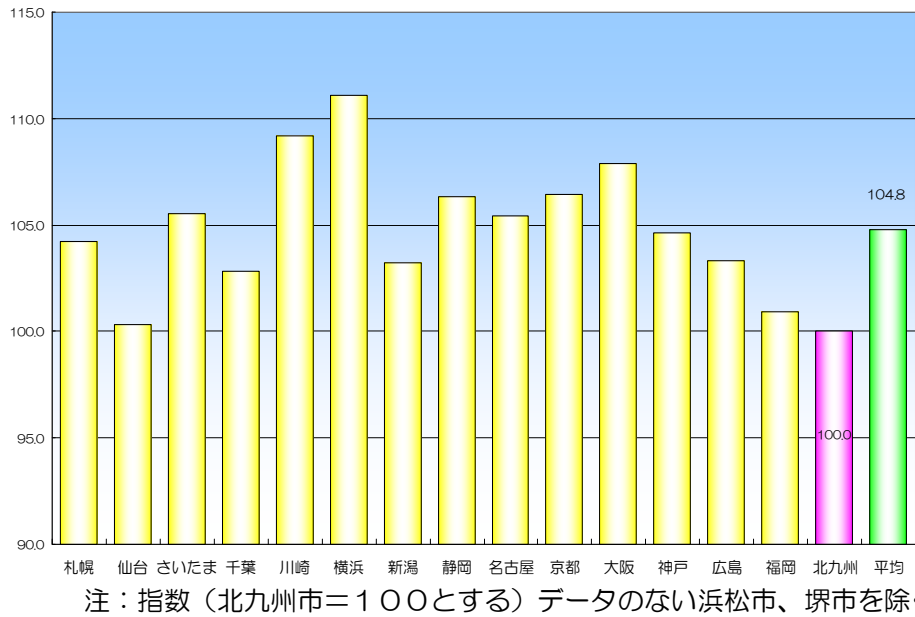
菅根干潟

● 豊かな自然が残る都市



## ● 消費者物価地域差指数 政令市で1番低い

平成20年度消費者物価地域差指数の政令市比較



## ● 「次世代育成環境ランキング」 4年連続政令市1位 (平成17～20年度)



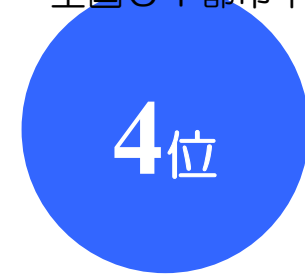
子育てしやすいまち**No.1**(政令市)

(平成20年度)

政令指定都市中



全国51都市中



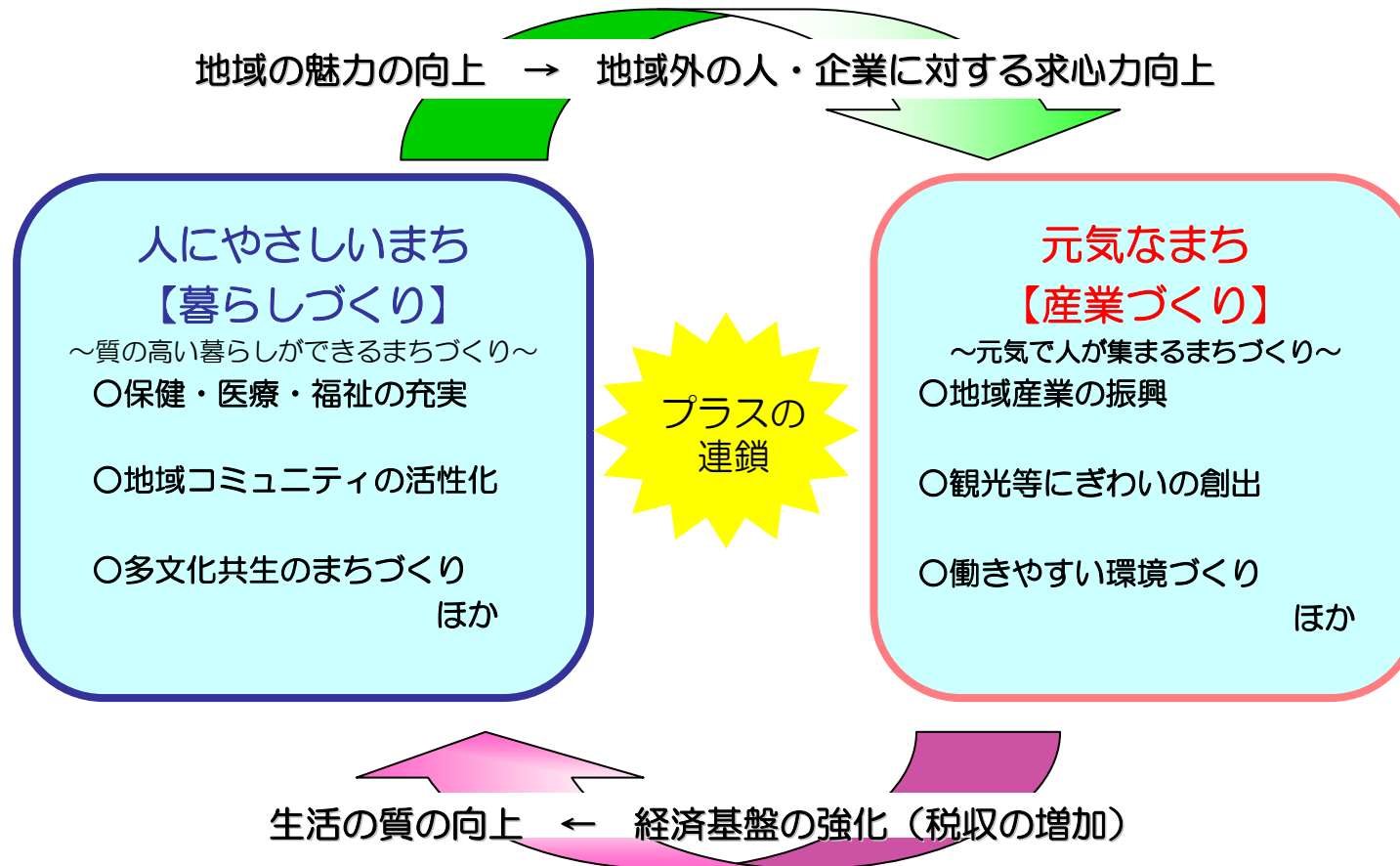
\*NPO法人エガリテ大手前 主催



## 暮らしやすいまち



● 市の発展に向けた「プラスの連鎖」のイメージ





まちづくりの目標

人と文化を育み、世界につながる、環境と技術のまち

基本方針

- ◆人づくり
- ◆暮らしづくり
- ◆産業づくり
- ◆都市づくり

北九州ブランドの創造

- 世界の環境首都  
世界からもみとめられる環境都市づくり
- アジアの技術首都  
アジアの中核的なものづくりの拠点形成

まちづくりのちから

市民のちから

みんなで  
まちをつくる

行政のちから

新しい市役所に  
変わる

連携のちから

まちとまちの  
つながりを強める

資産のちから

まちの「たから」  
を活かす

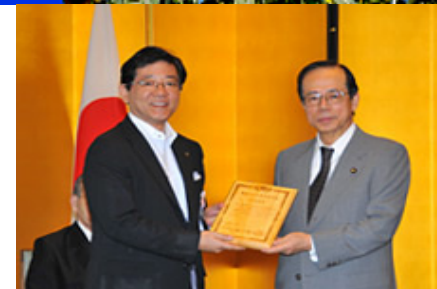
自然のちから

自然の恵みを  
活かす



● 環境モデル都市に決定（平成20年7月22日）

「低炭素社会実現」に向けた取組みを積極的に展開



H20.7 認定証を受ける

北九州市環境モデル都市行動計画（平成21年3月）

～北九州グリーンフロンティアプラン～

市民の環境への想いと絆

↓  
低炭素社会づくり

新しい価値観、文化の創造

地球温暖化問題の解決

都市活力の増大

アジアの発展・交流

CO<sub>2</sub>削減目標（2050年）北九州市域： 50%  
（現在の排出量:1,560万トﾝ/年）アジア 地域： 150%相当

環境が  
先進の街を  
創る

環境が  
経済を  
拓く

環境が  
人を  
育む

環境が  
豊かな生活を  
支える

環境が  
アジアの絆を  
深める

世界の環境首都への取組②

環境モデル都市の取組



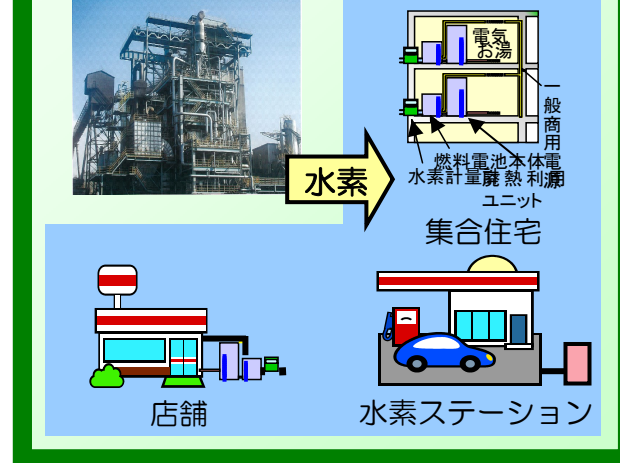
環境が先進の街を創る

城野地区低炭素先進モデル地区



環境が経済を拓く

東田地区水素タウン



環境が人を育む

低炭素社会総合学習システム



環境が豊かな生活を支える

北九州版カーボンオフセット



環境がアジアの絆を深める

(仮称) アジア低炭素化センター







循環型社会構築に向けた日本最初の「エコタウン」事業

環境政策と産業振興（環境産業）にも貢献



実証研究エリア



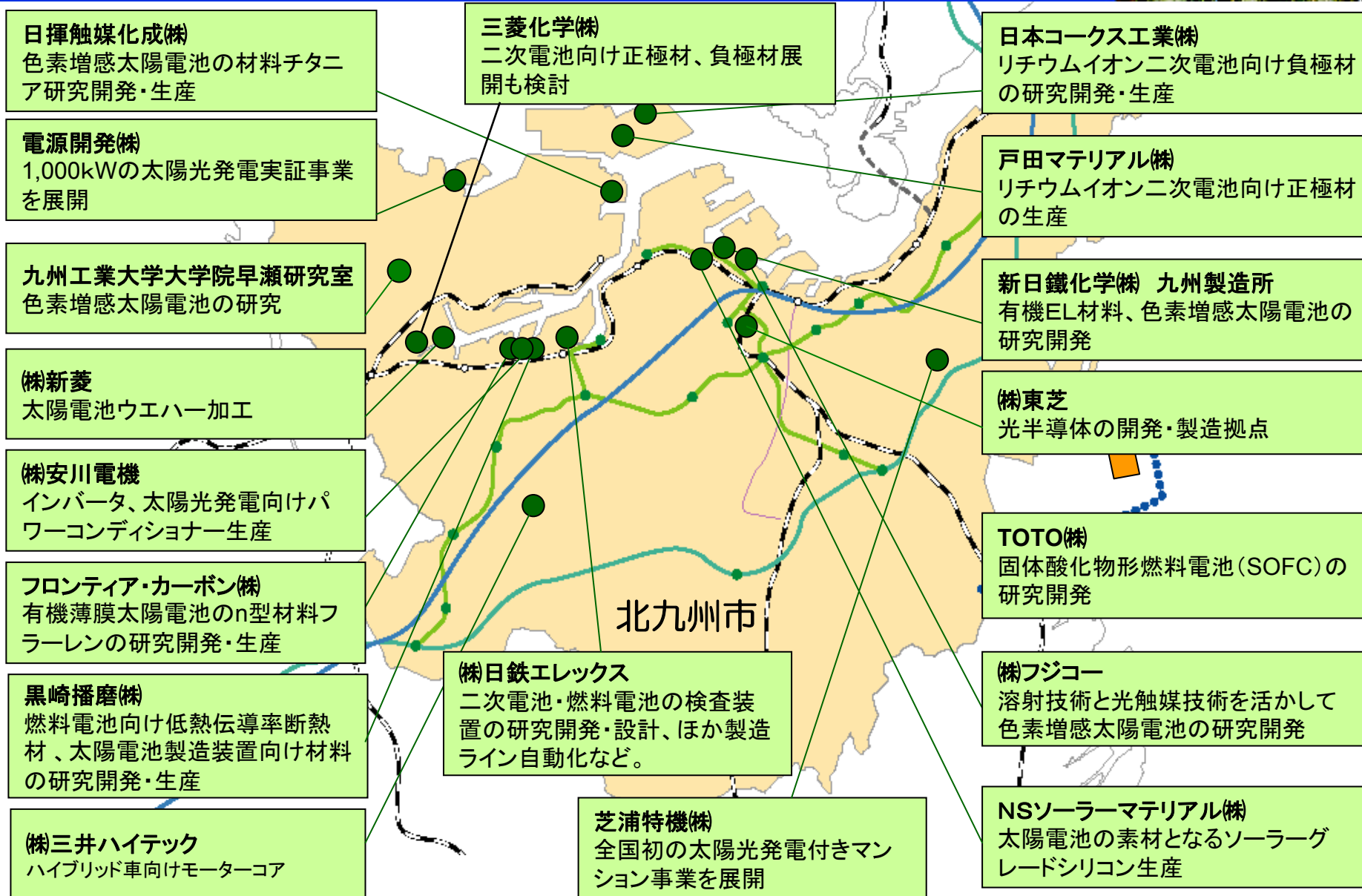
総合環境コンビナート・響りサイクル団地

概要：研究施設数: 15、事業者施設数: 26  
事業成果: 環境保全と経済開発

**環境:** 環境負荷の削減、省資源・省エネルギー

**経済:** 投資額 約600億円（市：国等：民間＝1：2：7）  
従業員数: 約1,300人（非常勤を含む）  
視察者数：約75万人（1998年～2009年3月）

# 世界の環境首都への取組④ 環境・エネルギー関連産業の集積



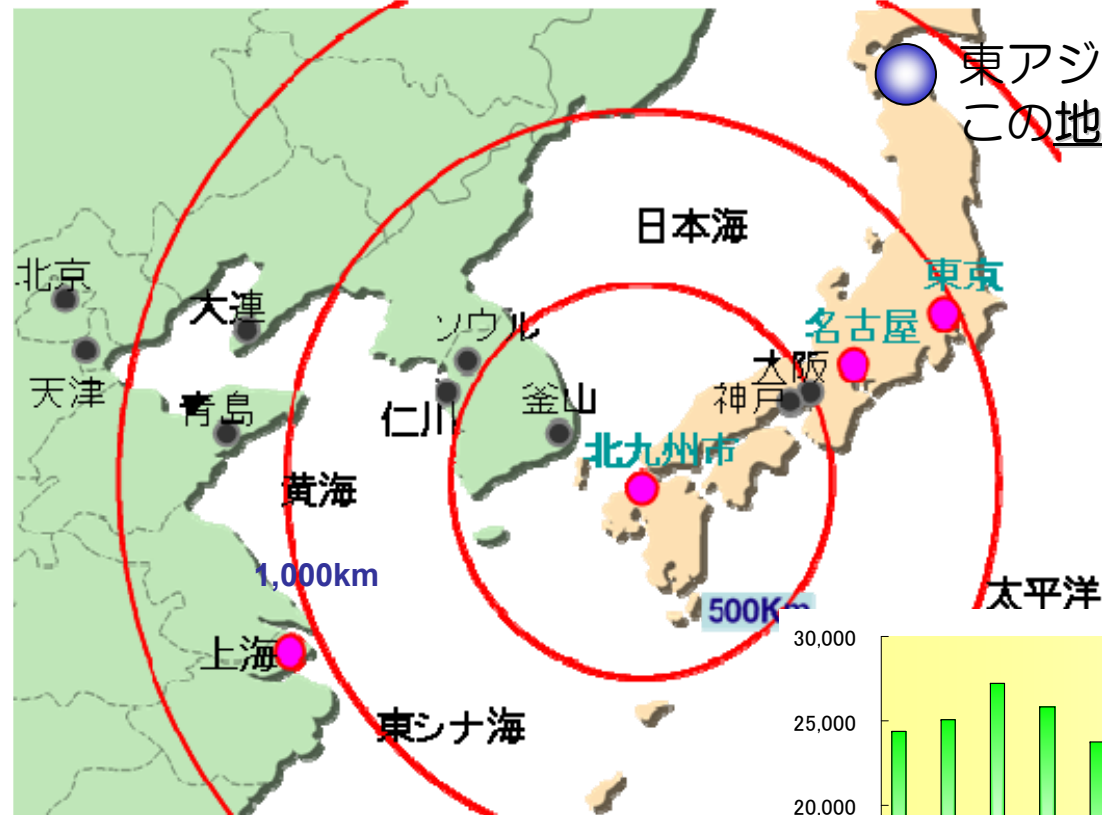
# 1 北九州市経済の現状

---

---

# 1 北九州市経済の現状

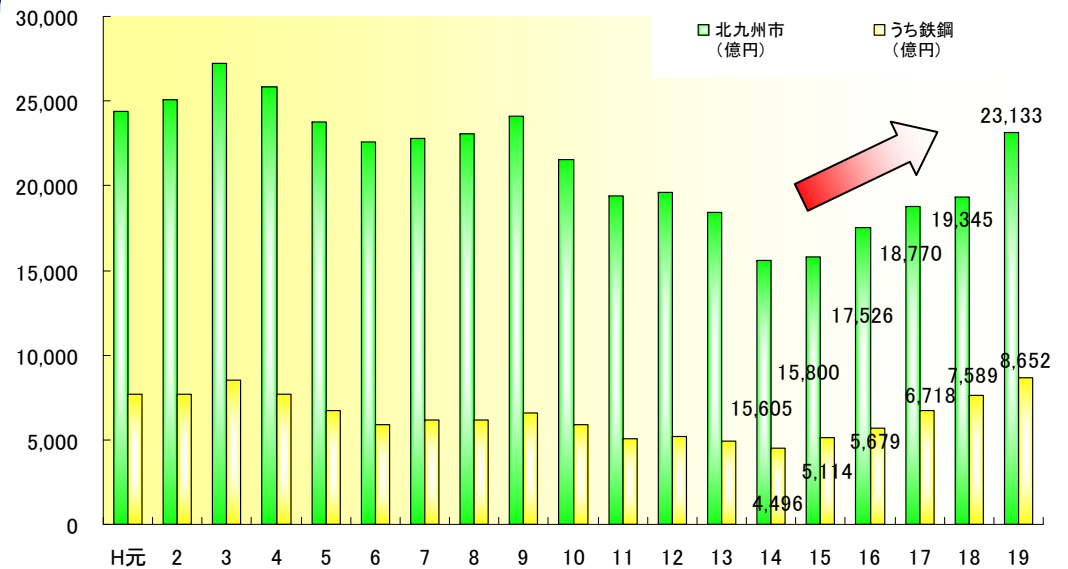
## ロケーションと産業特性



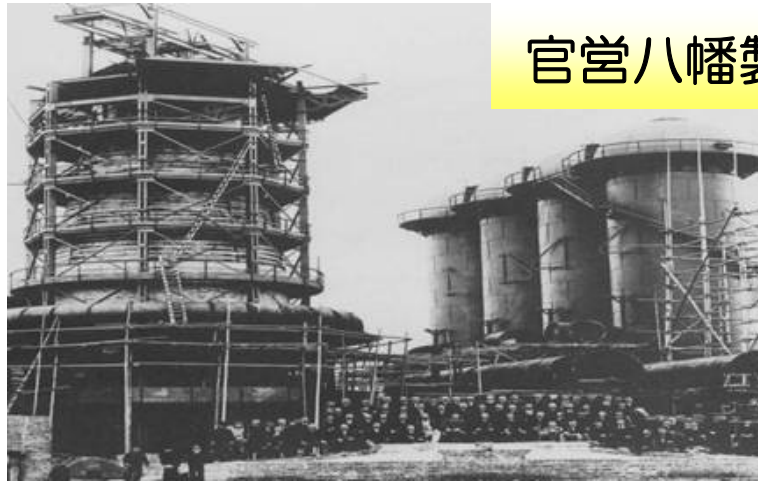
● 東アジアに近い北九州  
この地理的優位性は非常に大きな強み

● 日本を代表するものづくり産業  
(基礎素材産業) が集積

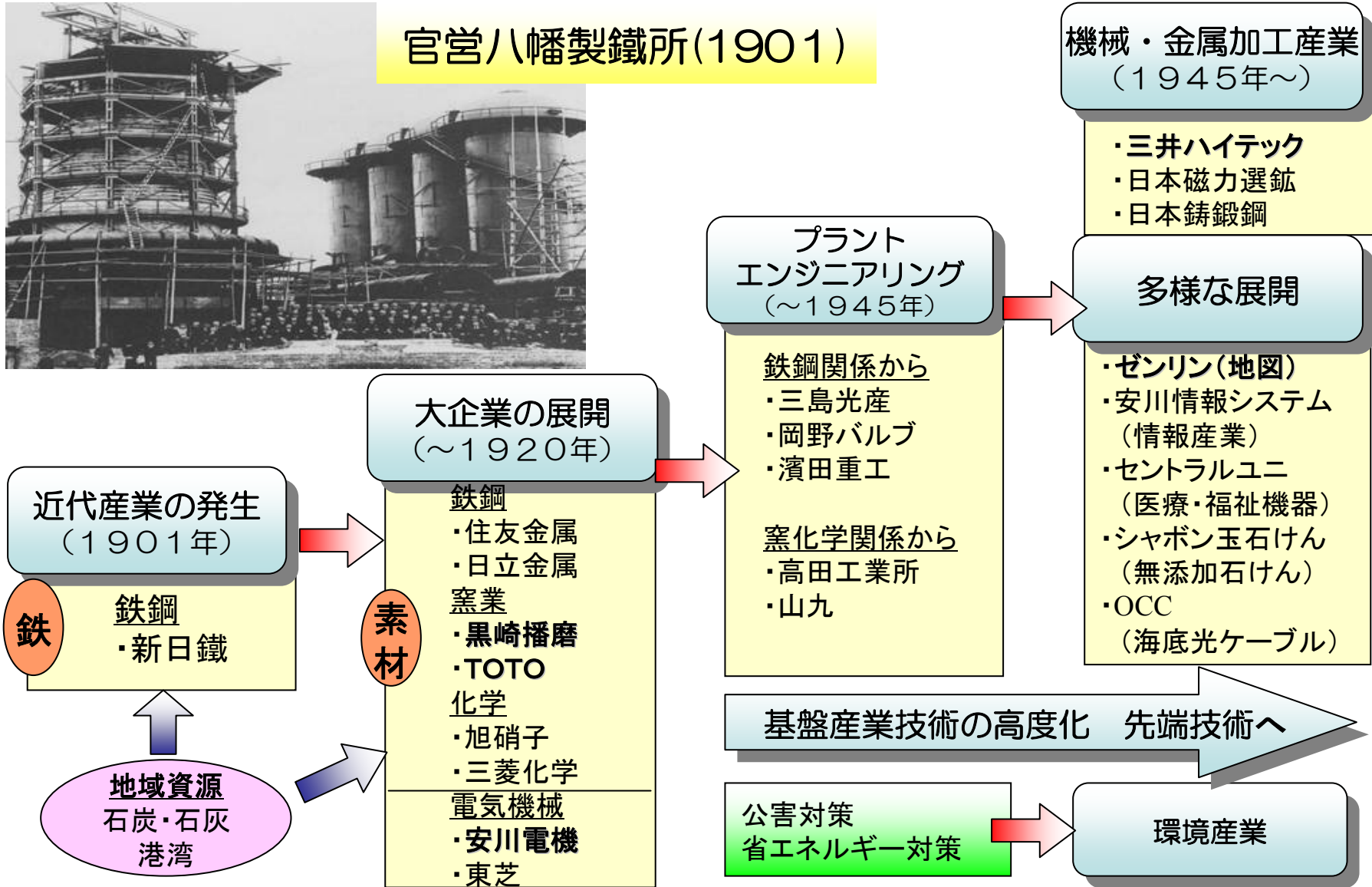
【製造品出荷額等の推移】



資料：「工業統計」経済産業省（従業員4人以上）

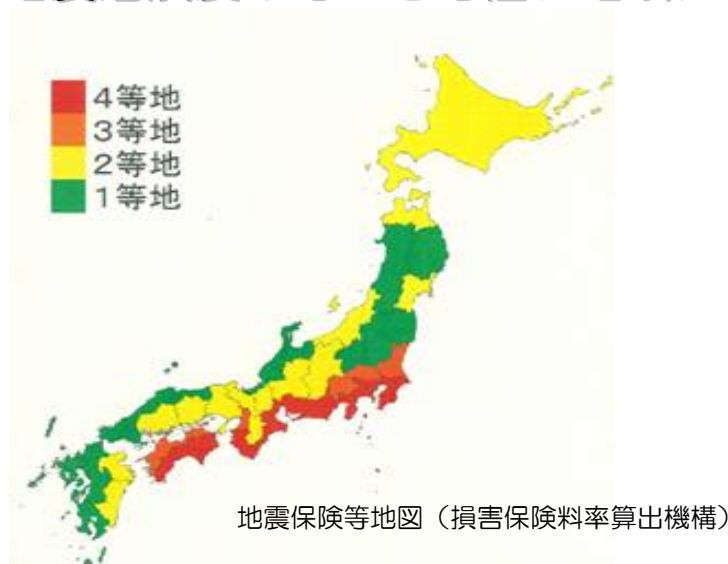


官営八幡製鐵所(1901)





### 地震危険度がもっとも低い地域に位置し、業務継続性を確保可能



1等地	岩手、秋田、山形、福島、栃木、群馬、富山、石川、福井、鳥取、島根、山口、 <b>福岡</b> 、佐賀、長崎、熊本、鹿児島の各県
2等地	北海道、青森、宮城、新潟、長野、岐阜、滋賀、京都、兵庫、奈良、岡山、広島、大分、宮崎、沖縄の各道府県
3等地	茨城、埼玉、山梨、大阪、香川、愛媛の各府県
4等地	千葉、東京、神奈川、静岡、愛知、三重、和歌山、徳島、高知の各都県

### 渇水に強い工業用水と上水道

#### 【工業用水道】

水量豊かな遠賀川(1級河川)を水源（日量254,000m<sup>3</sup>の供給能力）とした、気象条件に左右されない安定した給水を実施

東京都及び政令市の中、最も安価な料金（平成20年4月1日に料金の引き下げを実施）

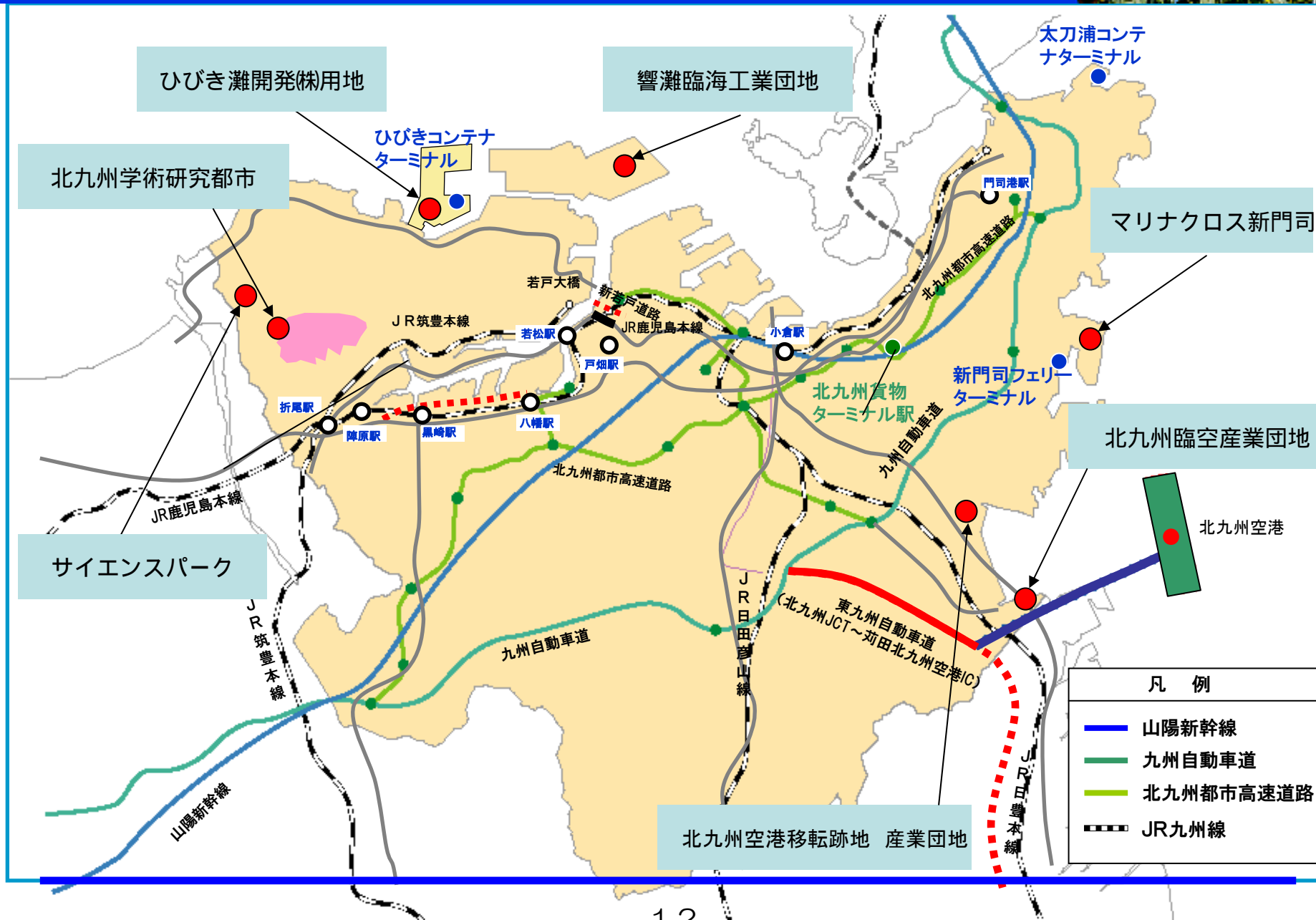
#### 【上水道事業】

市外にも積極的に水源を求め、豊富な水量を確保

基幹浄水場を結ぶ連絡管の整備等により、事故や災害に強い安定した給水を実現

大口特割制度の導入と大口使用単価の引き下げ（平成21年4月1日実施）

# 1 北九州市の経済の現状 優れた投資環境が充実した産業用地





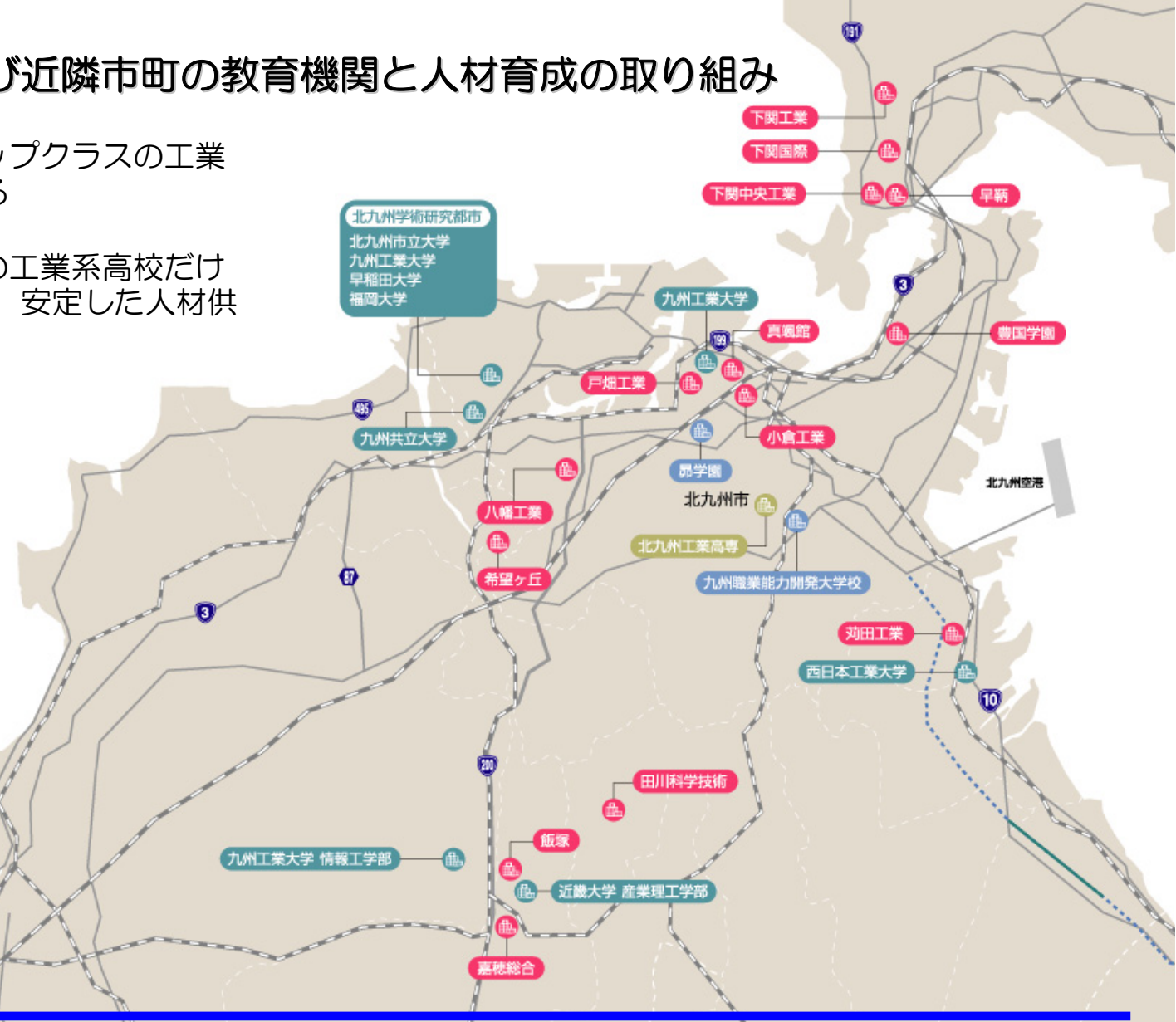
### ● 北九州市内及び近隣市町の教育機関と人材育成の取り組み

● 福岡県は全国でトップクラスの工業系高校卒業生数を誇る

● 北九州市及び近隣の工業系高校だけで県内の約1/2を占め、安定した人材供給が可能

北九州市内及び近隣市町の教育機関位置図  
(理工系大学院、大学、工業高校等)

-  理工系大学院、大学
-  工業系高校
-  工業高等専門学校
-  理系専門学校、その他







過去5年間の誘致実績（平成16年度～平成20年度）

誘致件数 **218社** 新規雇用 **7,551人** 投資額 **4,666億円**

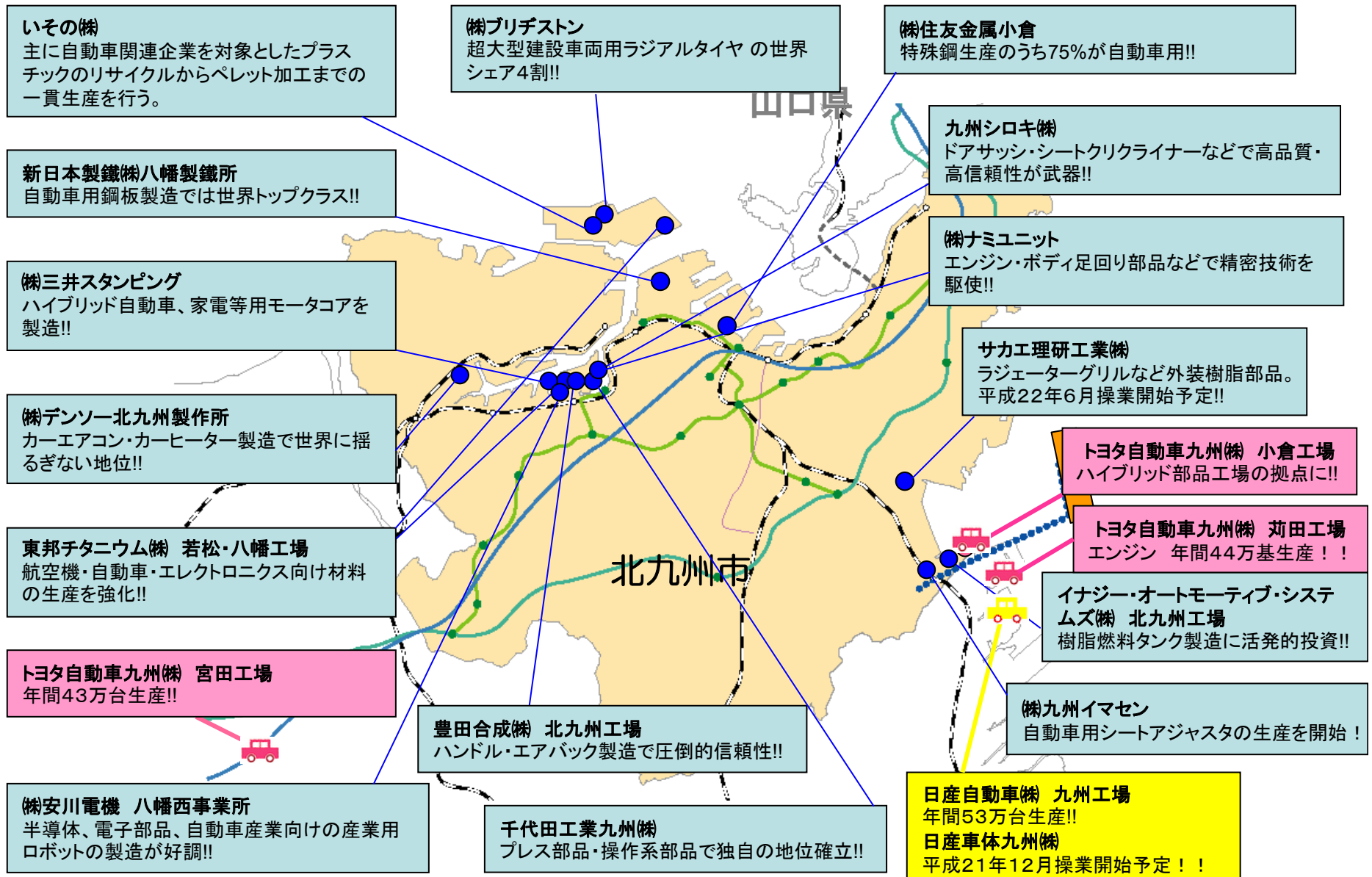
厳しい経済状況にもかかわらず着実に企業誘致を達成

市内企業の最近(H16～20年度)の大規模投資

企業名	内容
寿工業(株)	鍛造用鋼塊
東邦チタニウム(株)	スポンジチタン
豊田合成(株)	自動車内外装備品
(株)デンソー北九州製作所	ディーゼル用燃料噴射装置の製造
(株)ブリヂストン	超大型及び大型建設車両用ラジアルタイヤ
トヨタ自動車九州(株)	ハイブリット用トランスアクスル
サカエ理研工業(株)	ラジエーターグリル等外装樹脂部品及び ドアミラー等の機能部品
新日本無線(株)	半導体の調査、研究、開発
富士通コミュニケーションサービス(株)	コールセンター
ソフトバンクIDC(株)	データセンター
大和ハウス工業(株)	賃貸倉庫

# 1 北九州市の経済の現状

## 北部九州の自動車関連産業の集積



# 1 北九州市の経済の現状

北九州学術研究都市—知の基盤・産学連携拠点—



## —進出大学・研究機関等—

	【大学名】	学部名・研究科名
1	北九州市立大学	国際環境工学部
		大学院国際環境工学研究科
2	九州工業大学	大学院生命体工学研究科
3	早稲田大学	大学院情報生産システム研究科
4	福岡大学	大学院工学研究科

## 【北九州学術研究都市の特徴】

- ・ 理工系の大学・研究機関、企業の研究部門を同一キャンパスに集積
- ・ 進出大学の教育・研究理念の共通化
- ・ キャンパスの一体的な運営、施設の共同利用
- ・ 研究者・教員・学生相互の交流と連携

	【研究機関等の名称】
1	早稲田大学情報生産システム研究センター
2	福岡県リサイクル総合研究センター
3	福岡大学産学官連携センター北九州産学連携推進室
4	広島工業大学 IC設計・プロセス工学教育研究センター
5	英国クランフィールド大学北九州共同研究室
6	財団法人 九州ヒューマンメディア創造センター北九州ITオープンラボ
7	清華大学コンピュータ科学技術学部北九州研究室
8	上海交通大学北九州研究室
9	九州工業大学先端エコフィッティング技術開発研究センター
10	北九州市立大学技術開発センター群(アクア研究センター等)
11	九州工業大学JAHNG研究室&健康資源マネジメント研究会
12	熊本県立大学有菌研究室
13	九州工業大学産学連携推進センター若松分室
14	独立行政法人 科学技術振興機構
15	財団法人 ファジィシステム研究所

# 1 北九州市の経済の現状 戦略的な企業誘致による新たな成長産業の集積



● 充実した産業インフラや高度な技術・人材などの地域資源を最大限活用

➡ 今後の成長が期待でき、地域産業への大きな波及効果が見込める

重点産業分野の企業立地を促進し、新たな産業活力を取り込む

市内企業の情報収集及び事業拡張支援を行う

## 重点誘致産業分野

自動車

半導体

情報通信

素 材

環境  
エネルギー  
産業

物 流

誘致目標 5年間  
(平成20~24年度)

新規雇用

4,000人

## 2 市の財政状況

---



● 健全化判断比率等（平成20年度決算）詳細版

【健全化判断比率】

【単位：％】

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
北九州市	—	—	8.0	171.8
早期健全化基準	11.25	16.25	25.0	400.0
財政再生基準	20.00	40.00	35.0	

平成20年度決算に基づく各比率はいずれも基準値に達していない

【資金不足比率】 公営企業会計が対象（上・下水道事業や病院事業など）

5.9%	病院事業会計 （早期健全化基準に相当する）経営健全化基準は20%
------	-------------------------------------

他の公営企業会計は資金不足を生じた会計がないため比率なし



### 健全化判断比率政令市比較（平成20年度決算）速報値 【単位 %】

区分 政令市移行時期	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率 順位	将来負担比率 順位
北九州市 S38	—	—	3 8.0	9 171.8
札幌市 S47	—	—	5 10.8	7 147.2
仙台市 H01	—	—	8 12.2	8 169.8
さいたま市 H15	—	—	2 7.9	1 60.6
千葉市 H04	—	—	16 20.1	17 309.6
川崎市 S47	—	—	13 15.6	5 133.9
横浜市 S31	—	—	17 20.2	16 261.1
新潟市 H19	—	—	6 11.2	6 136.2
静岡市 H17	—	—	8 12.2	4 116.7
浜松市 H19	—	—	10 12.8	3 89.9
名古屋市 S31	—	—	11 13.5	11 224.9
京都市 S31	0.87	8.63	7 12.0	12 240.0
大阪市 S31	—	—	4 10.7	13 245.7
堺市 H18	—	—	1 6.9	2 81.1
神戸市 S31	—	—	12 15.1	10 176.6
広島市 S55	—	—	13 15.6	14 253.1
福岡市 S47	—	—	15 17.8	15 254.0

実質赤字比率は、  
連結ベースを含め  
**「比率なし」の黒字を確保**

実質公債費比率は、  
**8.0%の第3位**

〔 15年度以降政令市に移行  
した**比較的新しい都市を除  
くと**→**第1位** 〕

将来負担比率は、  
**171.8%の第9位**

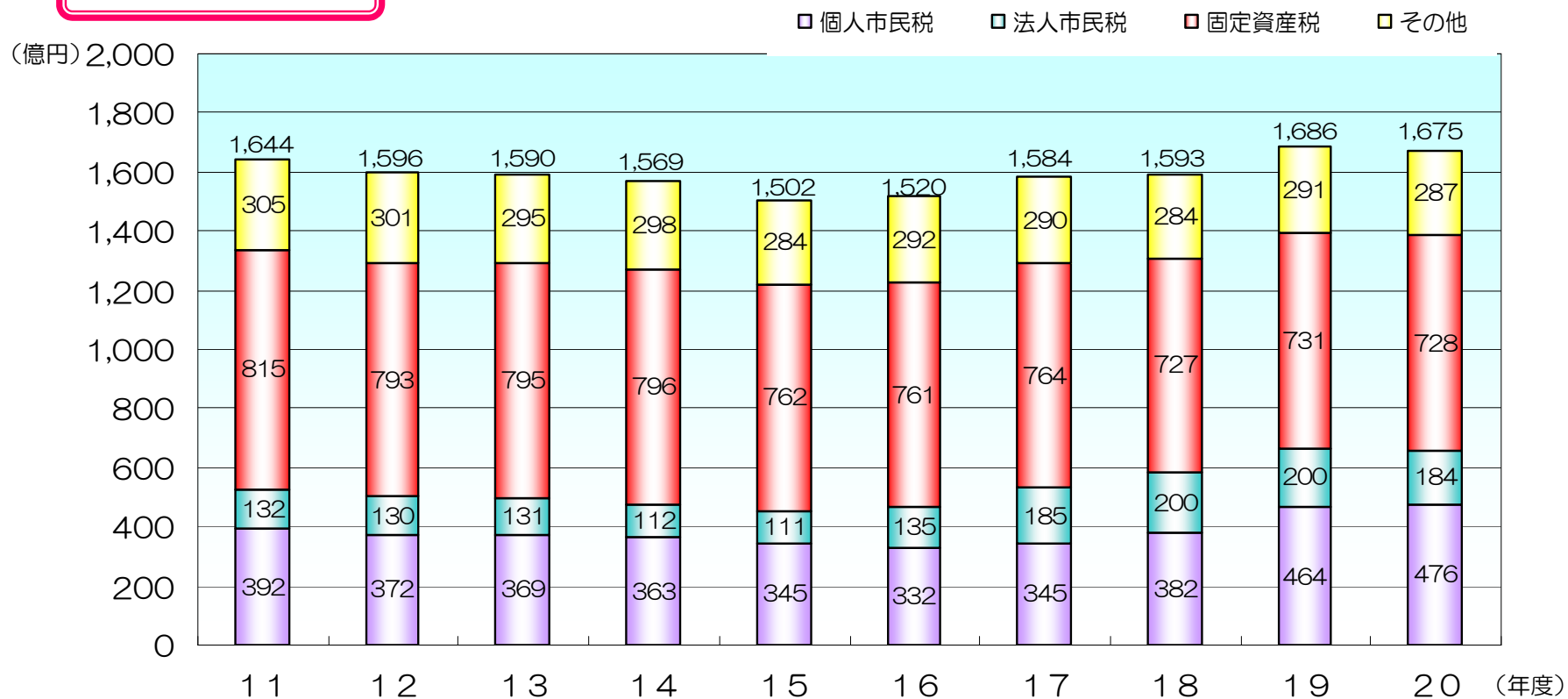
〔 15年度以降政令市に移行  
した**比較的新しい都市を除  
くと**→**第4位** 〕



昭和38年の政令市移行  
以来、**財政規律を堅持し  
財政の健全性を維持**



### 市税収入の推移



景気後退の影響による法人市民税の減収により、平成15年度以来5年ぶりの減収

税源移譲による税制改正の平年度化の影響等により個人市民税は増収



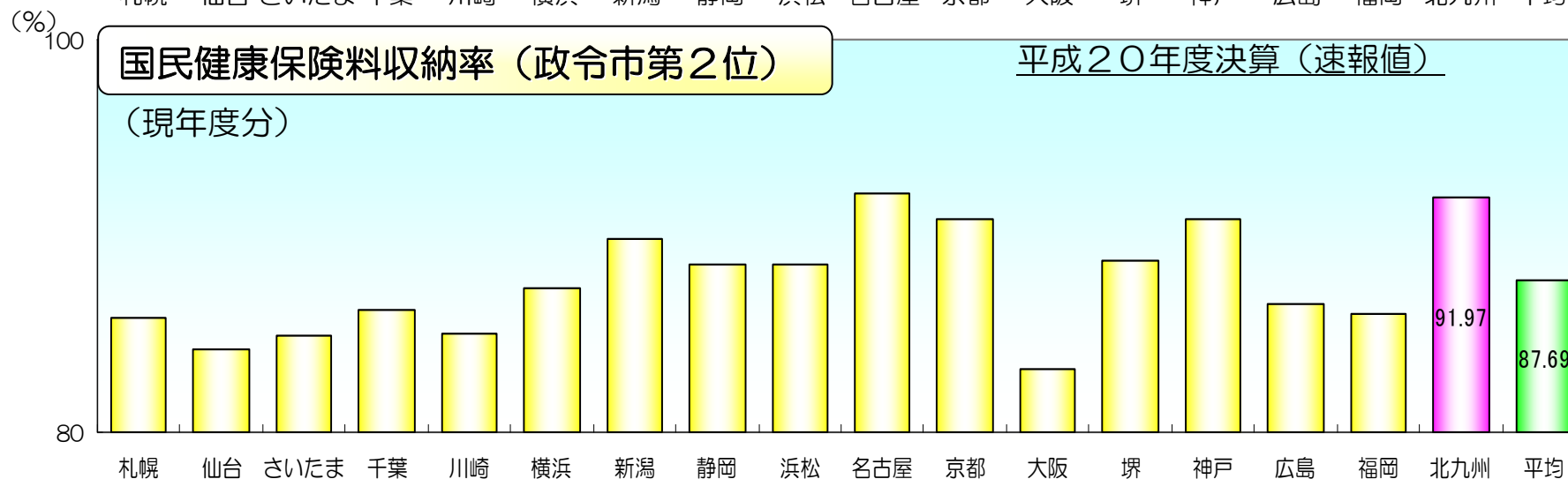
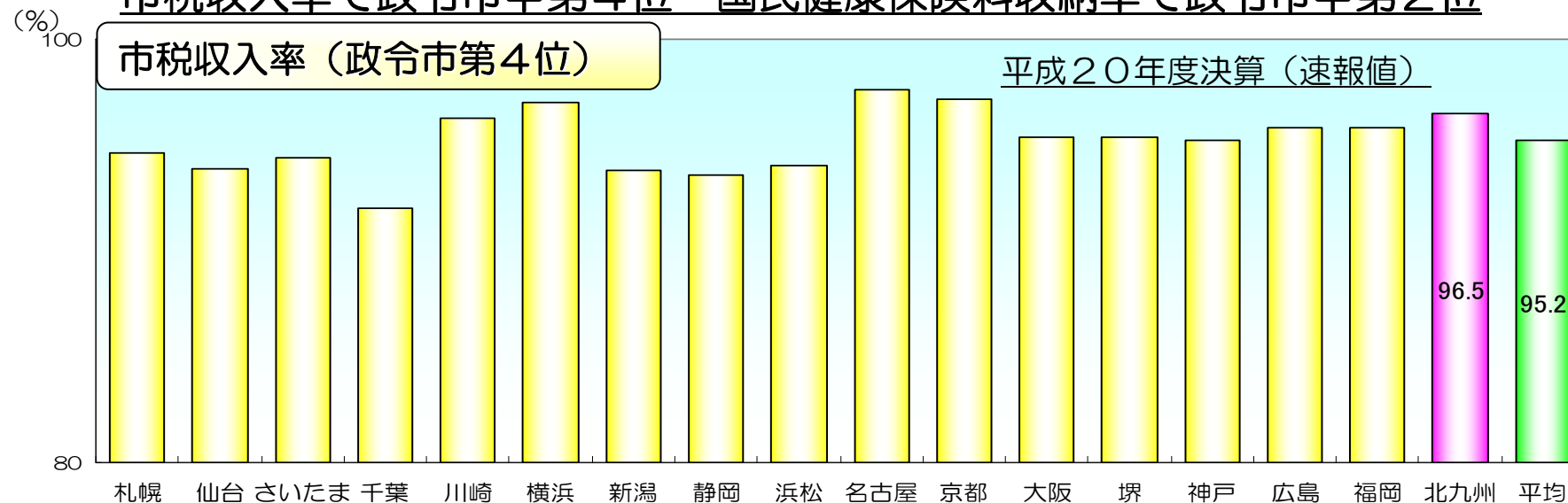
## 2 市の財政状況

確実な歳入の確保



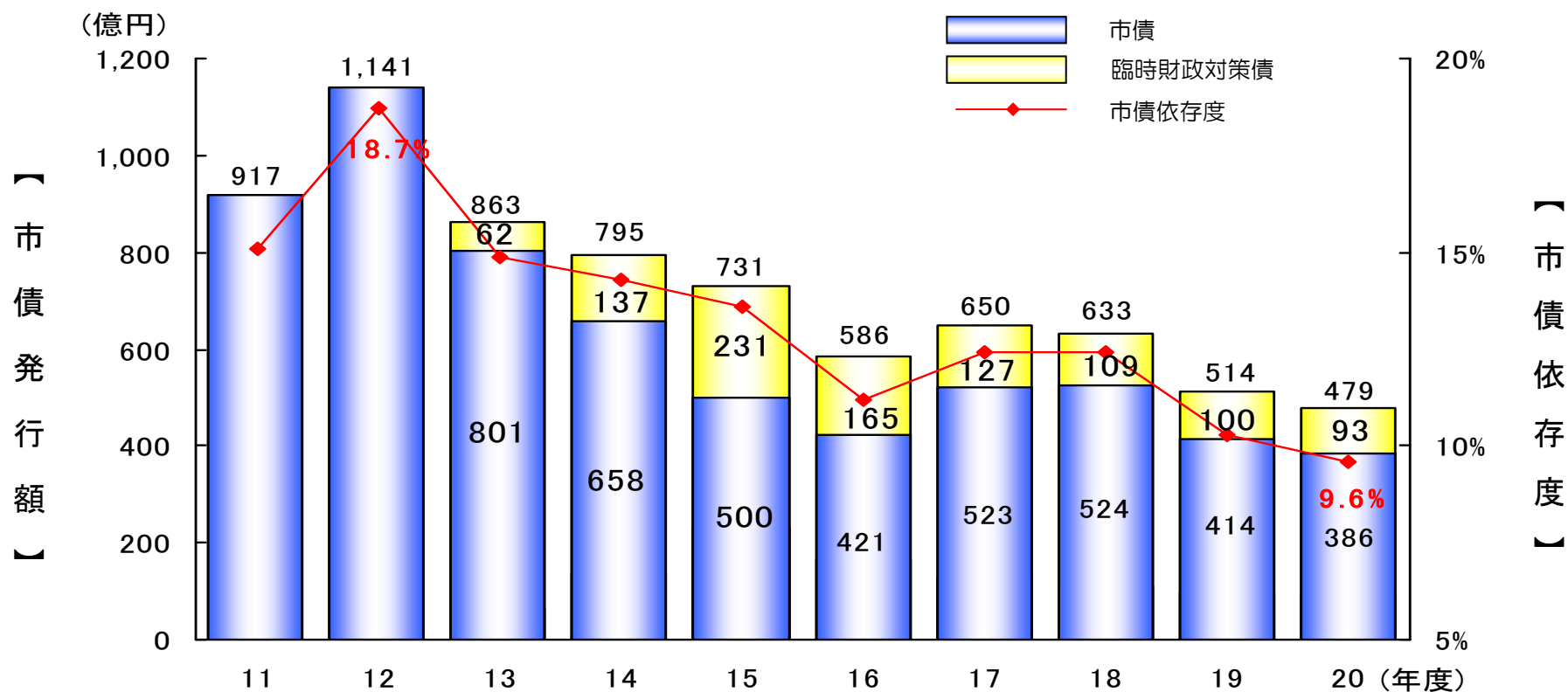
市税及び税外債権の高い収入率

市税収入率で政令市中第4位・国民健康保険料収納率で政令市中第2位





市債発行額と市債依存度（普通会計）の推移



市債発行額は投資的経費の減少等で3年連続の減少

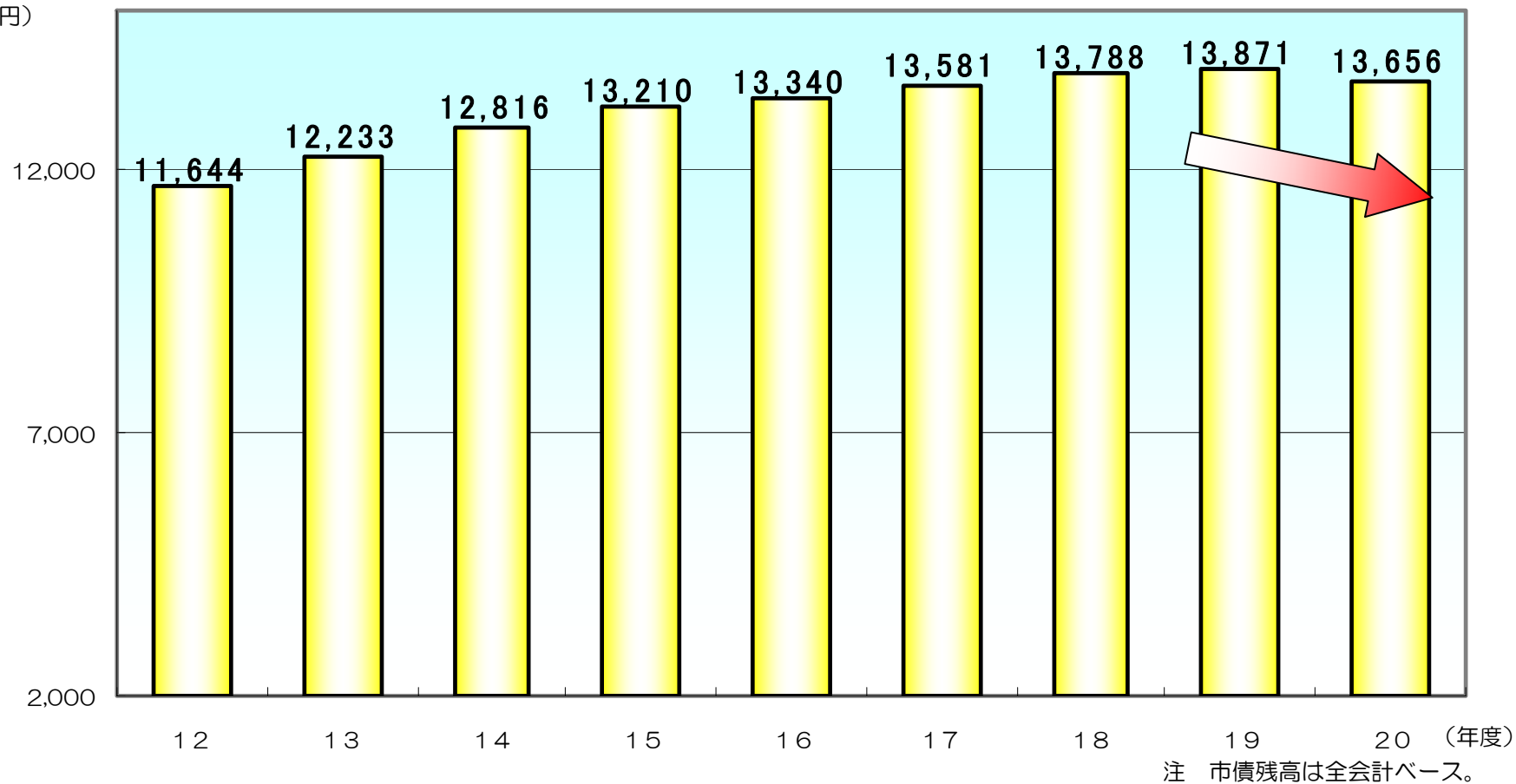
歳入に占める市債依存度は平成12年度をピークに減少傾向

平成5年以来15年ぶりに1桁台に



市債残高の推移（全会計）

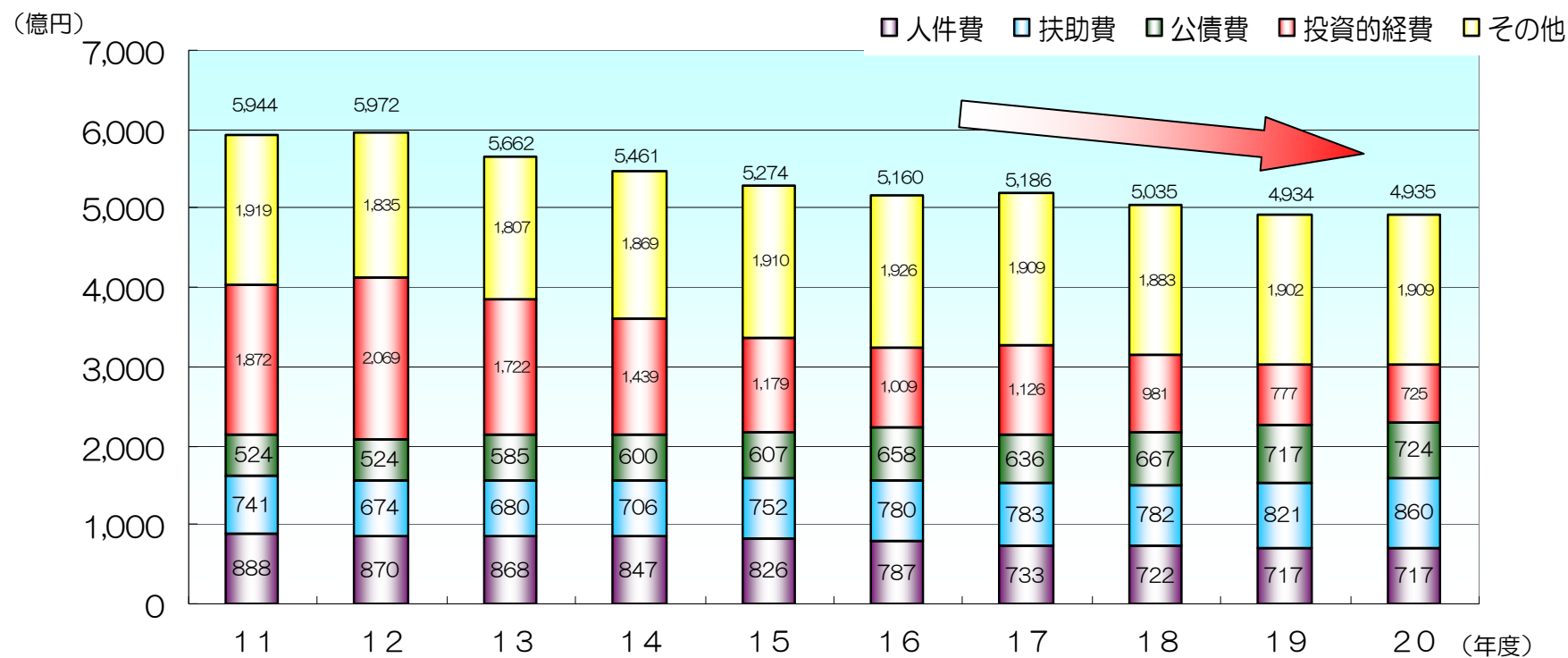
(億円)



市債残高は平成20年度末121億円（△1.9%）減少  
平成5年以来15年ぶりに減少に転じた



#### 義務的経費・投資的経費の推移（普通会計）



投資的経費は、平成12年度をピークに減少傾向

義務的経費は、扶助費の増加で過去最高額を更新

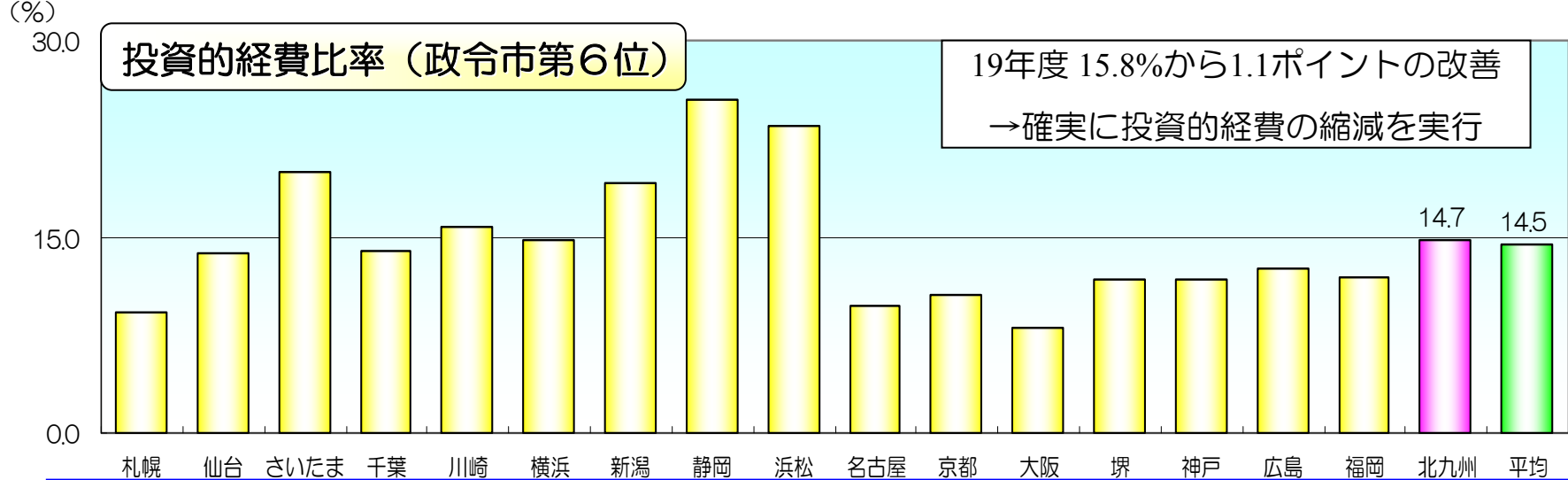
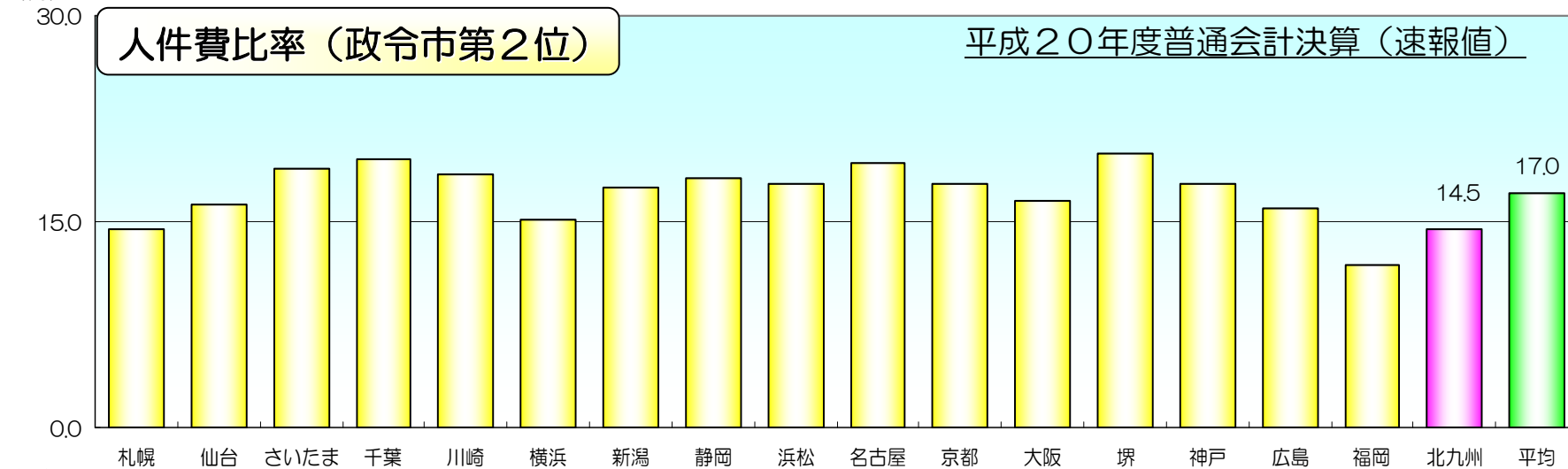


先進的な行財政改革の取組み



人件費の抑制

投資的事業については、引き続き重点事業の選択と集中化を図る

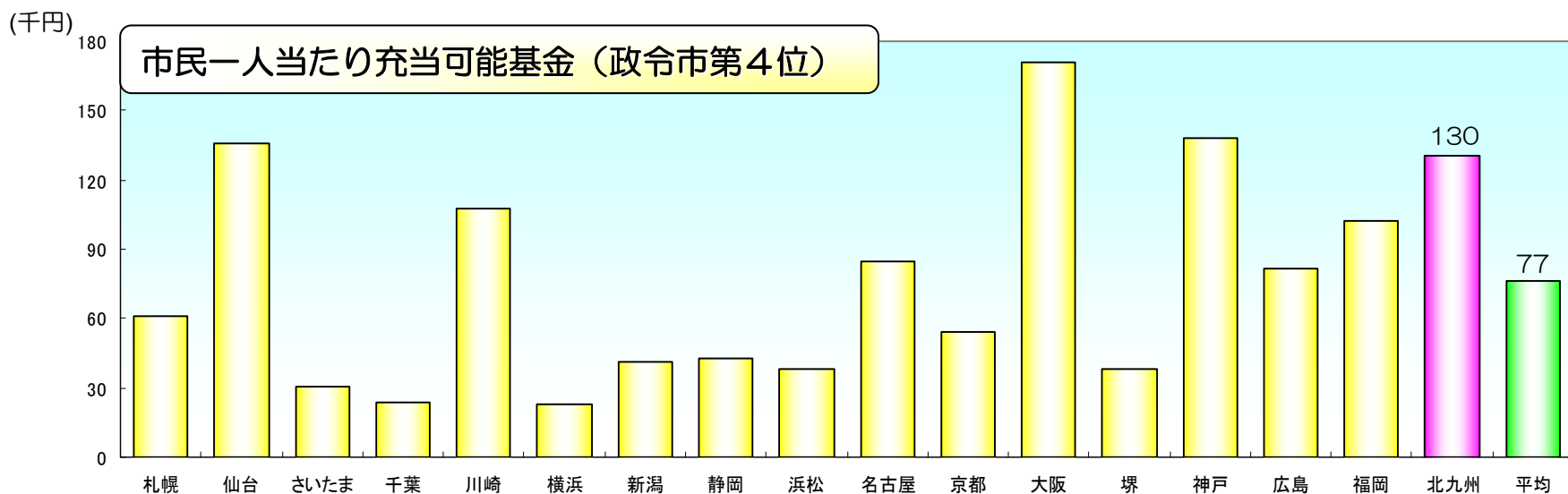
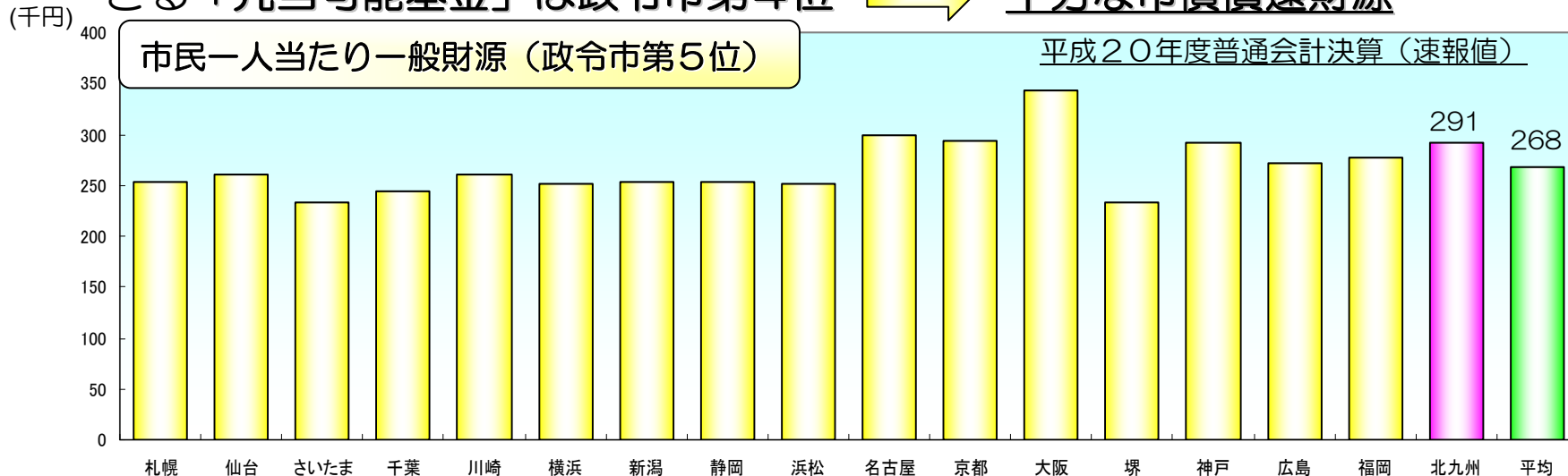


## 2 市の財政状況

十分な償還財源



● 市民一人当たりの市税等一般財源は政令市中第5位、将来負担額から控除できる「**充当可能基金**」は政令市第4位 → **十分な市債償還財源**





- これまでの徹底した行財政改革への取組 取組成果 **1,358件 約1,466億円** (8~20年度決算)

【参考】20決算 125件 約137億円（一般財源約125億円）の効果

### 経営改革の主な取り組み内容

#### 歳入

- 既存施設の活用や使用料、手数料の見直し
- 特別会計の剰余金等の活用
- 未利用市有財産の有効活用

#### 歳出

- 人件費の削減
- 公共投資の重点化・抑制
- 事務事業の見直し等

- 収支均衡、成熟型の財政運営への転換を図るため、「北九州市経営基本計画（平成18年12月）」を策定。取組期間19~22年度



- 経営基本計画の取組内容を継承 単年度収支の均衡を目指すため、「北九州市経営プラン（平成20年12月）」を策定。取組期間21~25年度

**集中取組期間（平成21年、22年度）に200億円の収支改善に取り組む！！**



### ●【北九州市経営プランの概要】

#### 市政経営の課題

- 公債費、福祉・医療費の増加等による財政状況の悪化に加え、高齢化社会の進展等さらなる財政圧迫要因が存在
- 今後増加・多様化する行政ニーズへどのように対応していくか

#### ＜取組期間＞

平成21～25年度（うち21・22年度は集中取組期間）

#### 市政経営の基本戦略

- 1 持続可能で安定的な財政の確立  
集中取組期間に**200億円規模**の収支改善対策を実施  
**単年度収支の均衡を目指す！！（平成22年度）**
- 2 多様な行政需要に対応しうる行政体制の確立

**「基本構想・基本計画」の推進と「プラス連鎖」の実現！！**

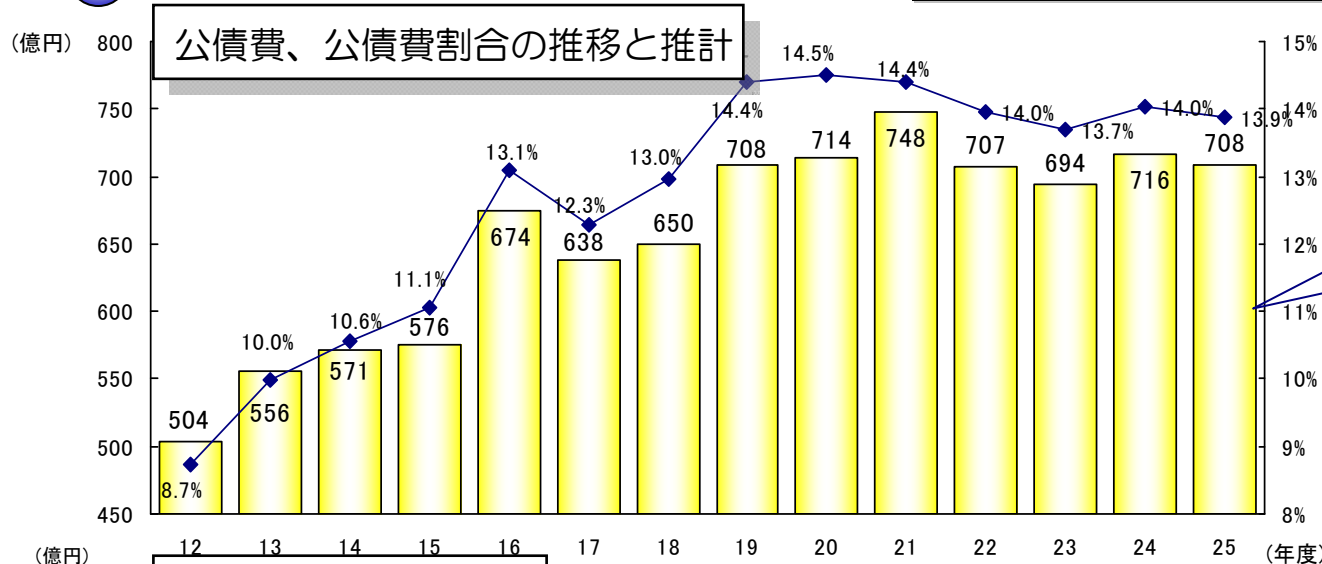


## 2 市の財政状況

## 財政悪化の要因

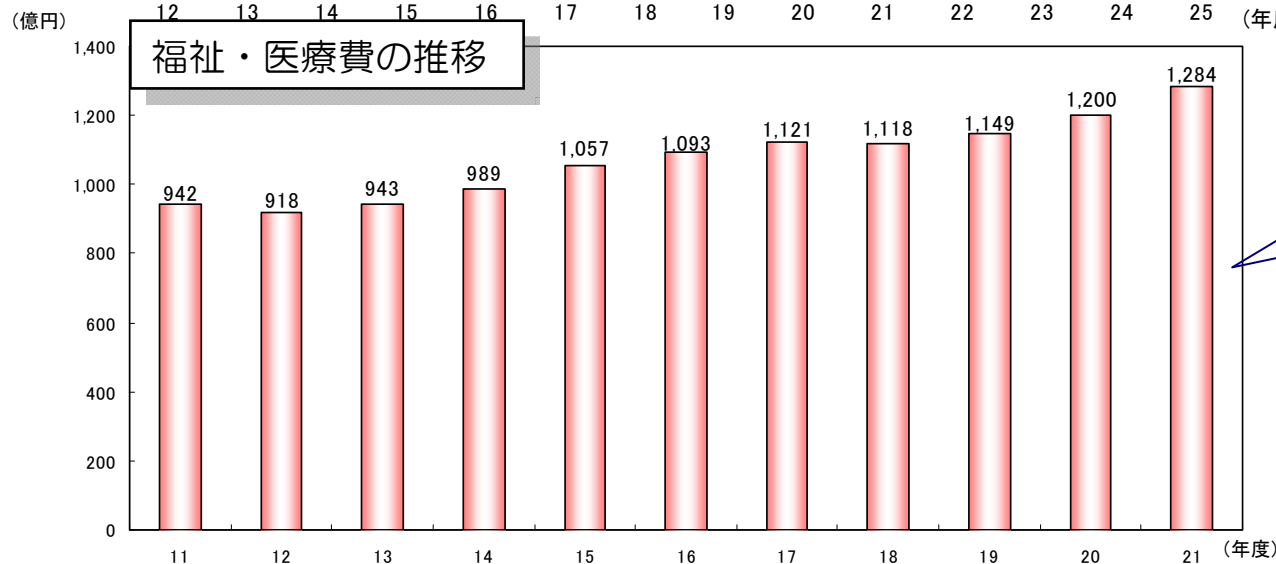


### 財政状況の悪化が見込まれる要因 公債費、福祉・医療費の増加



平成21年度にピークを迎え、その後も高水準にとどまる

\* 一般会計H11～H20決算額 H21当初予算額  
H22～中期財政見通しにおける見込み額  
(出典：北九州市経営プラン)



高齢社会の進展によって福祉・医療費の増加が見込まれる

\* 普通会計H11～H20決算額 H21当初予算額

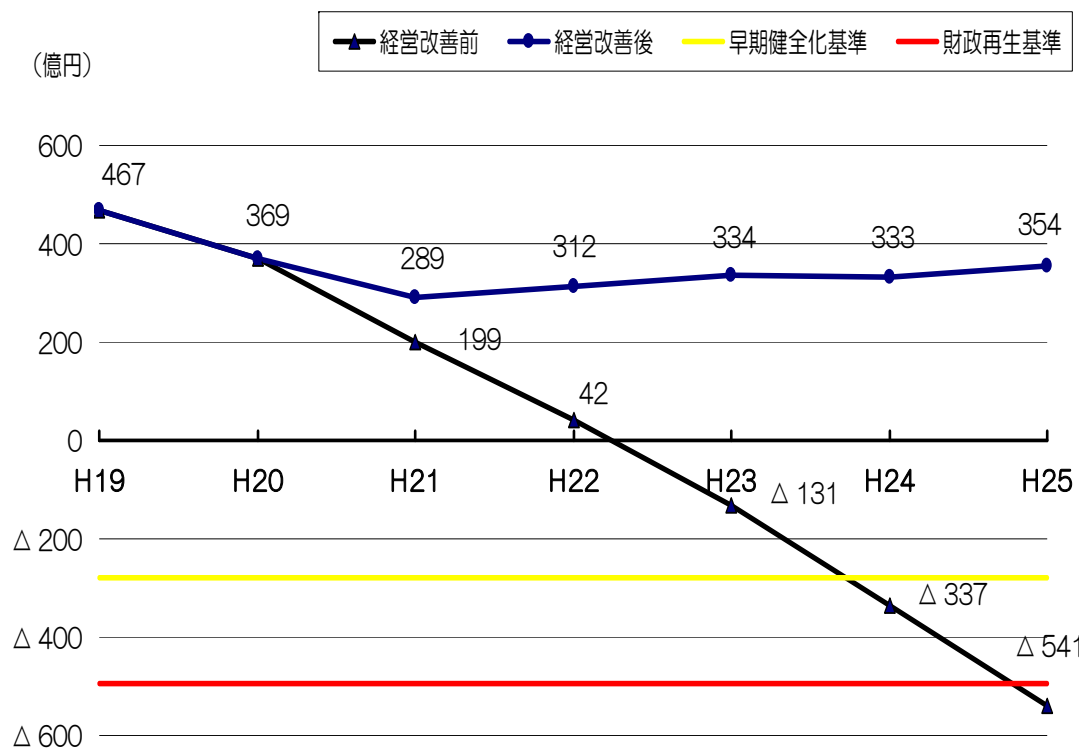
\* 福祉・医療費は各年度の扶助費、繰出金（国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、老人保健医療特別会計、後期高齢者医療特別会計（H20～））の合計



### 中期財政見通し（H21～25）

公債費がピークとなる21年度を控え、**平成21～22年度**まで各年度**100億円**の新たな経営改善に取り組む

中期財政見通し（H19～H25）



○実質赤字比率の早期健全化基準=Δ279億円

○ // の財政再生基準 =Δ495億円 ※いずれもH19決算ベース

\* 財源調整用基金で、満期一括償還分等に係る基金は除く

### 【経営改善後の基金残高】

(単位:億円)

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
収支不足額③	Δ85	Δ228	Δ303	Δ290	Δ306	Δ339	Δ337
決算における歳入増・歳出不用等④	-	100	100	100	100	100	100
経営改善見込額⑨	-	-	100	200	220	230	250
経営改善後の収支不足額 (基金取崩額) ⑩(③+④+⑨)	Δ85	Δ128	Δ103	10	14	Δ9	13
基本計画推進財源⑪	-	-	10	20	25	25	25
基金積立額⑥	106	30	33	33	33	33	33
基金増減額 ⑫(⑩-⑪+⑥)	21	Δ98	Δ80	23	22	Δ1	21
年度末基金残高⑬ (前年度末残高+⑫)	467	369	289	312	334	333	354

## 2 市の財政状況 具体的な取組内容 (持続可能で安定的な財政の確立)



北九州市経営プラン

### ● 持続可能で安定的な財政の確立

#### (歳入)

##### 【債権回収の強化】

市税・国保料・介護保険料・保育料徴収の一元化  
市債権の効率的・効果的な回収を行う

##### 【収入額の確保】

「債権回収基本計画」収入増加目標額 約34億円  
(20~22年度)

##### 【未利用資産の処分・活用】

売却目標額 30億円 (~22年度)

#### (歳出)

##### 【職員数の削減と人件費総額の抑制】

民営化・民間委託の推進、組織の見直し等  
による職員数の削減を実施  
平成25年度には職員数を8,000人体制へ

##### 【事務事業の見直し】

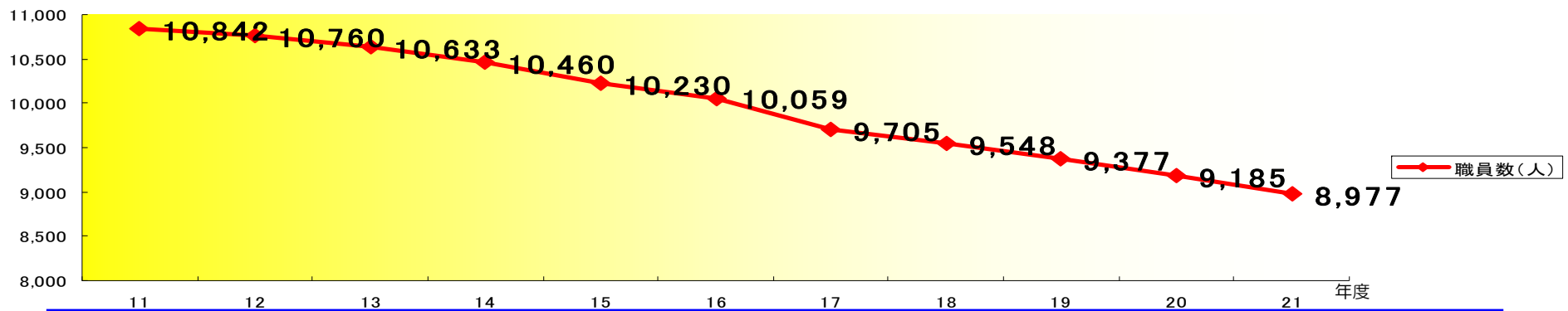
集中取組期間中40億円程度の効果額を確保  
都市基盤の維持管理について  
アセットマネジメントを導入

##### 【投資的経費の抑制】

年7%程度の削減を実施  
公共工事のコスト縮減や地元企業への  
優先発注にも取り組む

など

職員数の推移



# 3 起債運営について

---



超長期20年債を22年1月に発行予定

個別発行10年債を例年どおり21年12月に発行予定

これまで以上にIRへ積極的に取り組むとともに、市場との対話を重ね丁寧な起債運営に取り組む

【平成21年度起債発行予定額】 1, 583億円

(単位 億円)

		市場公募債		超長期債 20年	銀行等引受債	政府資金等
5年債	10年債					
	個別	共同発行				
150	200	300	200	424	309	

注：平成21年度当初予算ベースで、前年度繰越事業分を含む



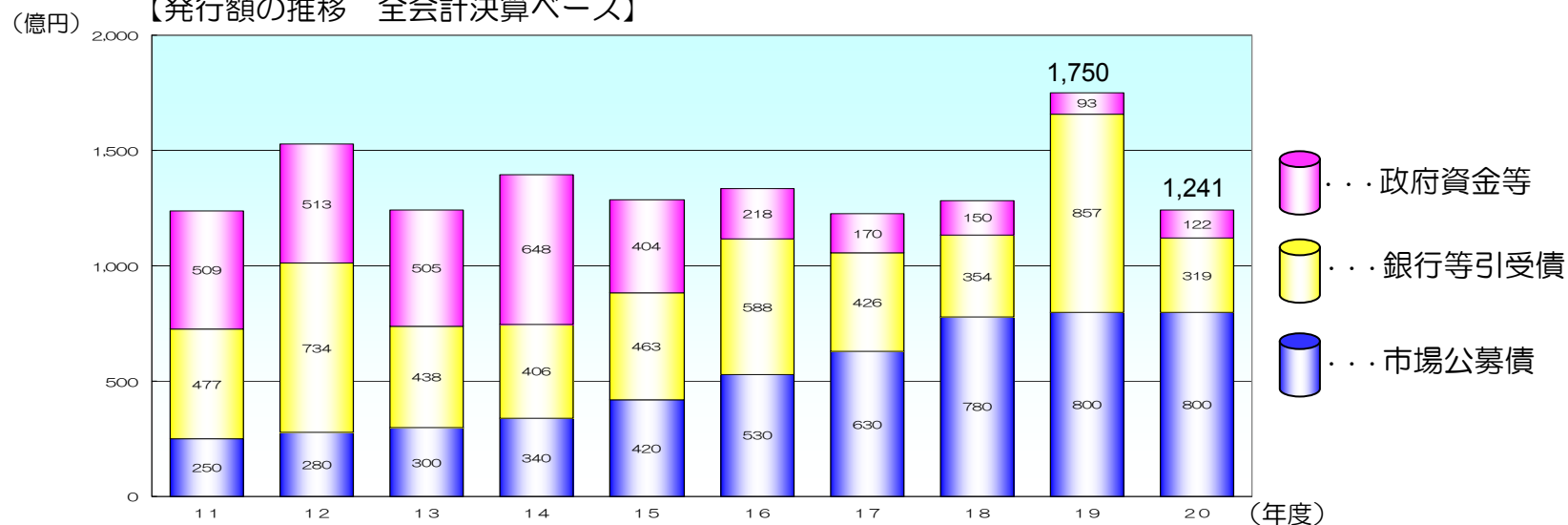
#### 資金調達の多様化への取り組み

- ◇ 銀行等引受債の5年債の債券発行（H12～）
- ◇ 住民参加型市場公募債（ひまわり債）の発行（H14～）
- ◇ 共同発行市場公募債の発行（H15～）
- ◇ 変動金利型の借入（H16～）
- ◇ シンジケート・ローンでの借入（H16～）
- ◇ 提案募集方式による借入（H17～）
- ◇ 超長期債（20年債）の発行（H18～）
- ◇ 全国型5年債の発行（H19～）

#### 市債発行に占める政府資金、民間資金の推移

● 平成20年度においては民間資金の割合が、約90%となった。

【発行額の推移 全会計決算ベース】





● 平成21年度市場公募債発行計画

単位：億円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年債						150							150
10年債									200				200
20年債				100						100			200
共同発行債			50		50		50	50		50	50		300
計	0	0	50	100	50	150	50	50	200	150	50	0	850

平成20年度に引き続き、平成21年度も毎年12月に発行している10年債のほか、5年債（年1回）、20年債（年2回）の発行を予定しています。



## 市場公募債 (平成21年9月末現在)

(%)		(%)	
*みずほ銀行	23.0	*野村證券	10.0
(銀行団幹事預かり)	1.0	*日興証券グループ証券	10.0
*福岡銀行	6.0	*大和証券SMBC	10.0
*西日本シティ銀行	2.0	(証券団幹事預かり)	2.0
*山口銀行	2.0	*みずほ証券	11.0
*福岡ひびき信用金庫	1.0	*三菱UFJ証券	7.0
*三井住友銀行	1.0	*みずほインバース証券	2.0
デプファ銀行	1.0	カブネックス証券	1.0
銀行団計	37.0	*SMBCフルード証券	1.0
*5年債シンジケート団		*丸三証券	1.0
		岡三証券	1.0
		*前田証券	1.0
		しんきん証券	1.0
		グローバルマツカク証券	1.0
		クリリチ日本証券	1.0
		ドイツ証券	1.0
		BNPパリバ証券	1.0
		クレディスイス証券	1.0
		証券団計	63.0

## 銀行等引受債 (平成21年9月末現在)

(%)	
福岡銀行	24.0
(銀行団幹事預かり)	1.0
みずほ銀行	24.0
(銀行団幹事預かり)	1.0
西日本シティ銀行	14.0
山口銀行	14.0
福岡ひびき信用金庫	10.0
信金中央金庫	4.0
三井住友銀行	2.0
福岡中央銀行	1.0
親和銀行	1.0
大分銀行	1.0
佐賀銀行	1.0
新生銀行	1.0
西京銀行	1.0
計	100.0